

2012冬風ヨットレース

帆走指示書 (Sailing Instructions)

1. 適用規則

- 1.1 セーリング競技規則 2009～2012(RRS)に定義された規則を適用する。但し、いずれの規則も帆走指示書によって変更されたものは除く。
- 1.2 競技規則 61.1(a)を次の通り変更する。
 - (a) 「抗議しようとする艇は、フィニッシュ後直ちにフィニッシュ・ラインに位置するレース・コミッティーボートに被抗議艇を伝えなければならない。」を追加する。
 - (b) OP級Aクラス、Bクラスは「(2) 艇体の長さが6メートル未満の艇は、赤色旗を掲揚する必要はない。」を削除する。抗議用の赤色旗を用意すること。

2. 競技者への通告

競技者への通告は陸上に設置された公式掲示板に掲示される。この場合、レース運営室に設置された信号柱にL旗を掲揚するとともに音響信号1声を発する。

3. 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、それが発効する当日の各クラスの予告信号の60分前までに公式掲示板に掲示される。

4. 陸上で発する信号

- 4.1 陸上で発する信号は、レース運営室に設置された信号柱に掲揚される。
- 4.2 すべての艇は、音響信号1声と共にD旗が掲揚された後、出艇することができる。掲揚されるD旗は『予告信号はD旗掲揚後30分以降に発する』ことを意味する。予告信号予定時刻の30分前までにD旗が掲揚されない場合は、そのレースのスタートが時間に定めなく延期されている。

5. レースの日程

- 5.1 登録受付2月5日(日)8:00～8:40 江の島ヨットハーバーレース運営室

5.2 レース日程

最初のレースのスタート予告信号予定時刻

OP級Aクラス	10:25
OP級Bクラス	10:30
レーザーラジアルクラス	10:35
レーザー4.7クラス	10:40

5.3 レース数

本レガッタは全クラス4レースを予定している。

5.4 その他の日程

9:00～開会式、スキッパーズミーティング 及び ブリーフィング
16:30～表彰式、閉会式

- 5.5 引き続き、次のレースが間もなく始まることを艇に注意を喚起するために予告信号を掲揚する最低4分前に音響信号1声とともにオレンジ旗を掲揚する。
- 5.6 全クラス14:40より後のスタート予告信号は発しない。

6. クラス旗

クラス	旗
OP級Aクラス	黒色のOPクラスマークの白旗
OP級Bクラス	赤色のOPクラスマークの白旗
レーザーラジアルクラス	グリーン旗
レーザー4.7クラス	イエロー旗

レーザーラジアルクラスおよびレーザー4.7クラスは参加艇数によって主催者の判断により同一のスタートにする場合がある。同一のスタートの可否はスキッパーズミーティング時に通達する。

7. レースエリア

7.1 レースは、神奈川県藤沢市江の島湘南港、江の島ヨットハーバー沖のA海面でおこなわれる。添付図1を参照のこと。

7.2 天候その他の状況により、レースエリアの変更をおこなうことがある。

8. コース

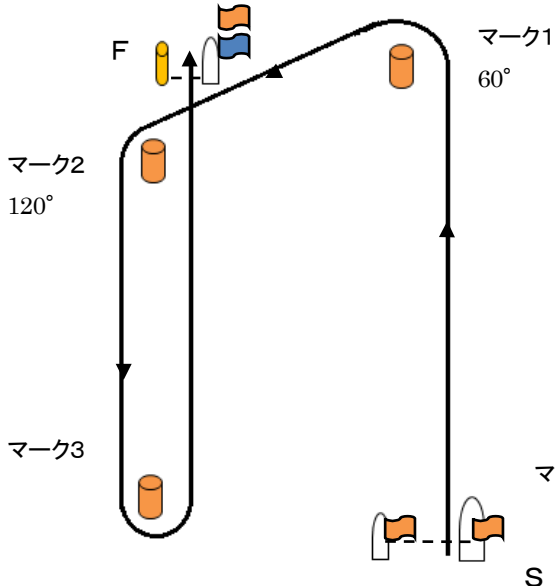
8.1 以下の図は、レグ間のおおよその角度、通過すべきマークの順序およびそれぞれのマークのどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。

8.2 予告信号以前もしくは同時にレース・コミッティー・シグナルボートに第1マークまでのコンパス方位を掲示する。

8.3 OP級Bクラスは天候その他の状況によりコースの変更をおこなうことがある。その場合のコースはスキップパーズミーティングで通達するコースとする。

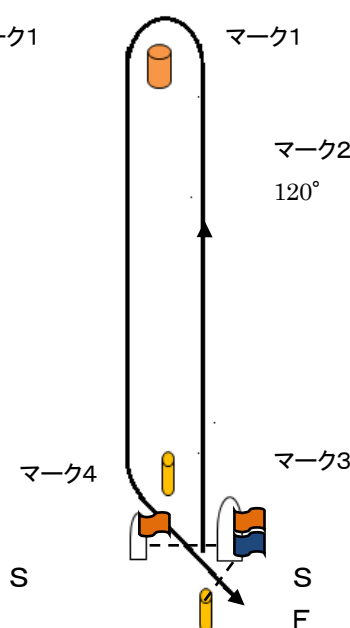
【OP級Aクラス】

コース：S-1-2-3-F



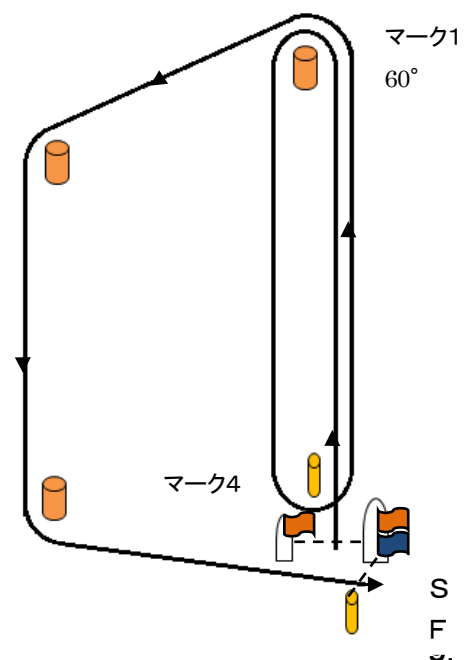
【OP級Bクラス】

コース：S-1-4-F



【レーザー・ラジアルクラス・レーザー 4.7 クラス】

コース：S-1-4-1-2-3-F



マーク

9.1 マーク1、2、3はオレンジ色の円筒形のブイとする。マーク4は黄色の細長い円筒形のブイとする。

9.2 スタート・マークとスタート・アウトサイドマークはオレンジ旗を揚げたレース・コミッティーボートとする。

9.3 フィニッシュ・マークはレースコミッティーボートとし、フィニッシュ・アウトサイド・マークは黄色の細長い円筒形のブイとする。

10. 障害物の区域

次の区域が障害物として指定される。ダイビングスポット(A旗を揚げたボート周囲約50m)

11. スタート

11.1 スタートは指示 5.2 と規則 26 に基づき以下の方式で行う。

信号	視覚信号	音響信号	スタートまでの時間
予告	クラス旗 (掲揚)	1 声	5 分
準備	P 旗, I 旗又は黒色旗 (掲揚)	1 声	4 分
1 分	P 旗, I 旗又は黒色旗 (降下)	長音 1 声	1 分
スタート	クラス旗 (降下)	1 声	0 分

- 11.2 スタート・ラインは、スターボードの端となるレース・コミッティー・シグナルボートのオレンジ旗を掲げたポールと、スタート・アウトサイド・マークのオレンジ旗を掲げたポールの間とする。
- 11.3 予告信号が発せられていないクラスの艇は、レース中および既に予告信号が発せられたクラスの艇を避けスタート・エリアを回避しなければならない。
- 11.4 スタート信号の4分以降にスタートする艇は、審問無しにDNSと記録される。これは競技規則A4を変更する。
- 11.5 ゼネラル・リコールの際、競技者に知らせるためレース・コミッティー・シグナルボート以外のレース・コミッティーボートにも第一代表旗を掲げる場合がある。ただし、その場合、音響信号は発せられない。また、当該レース・コミッティーボートがおこなう第一代表旗の降下については、競技規則レース信号「予告信号は降下の1分後に発する。」の意味は持たないものとする。

12. コースの次のレグの変更

コースの次のレグを変更する為に、レース委員会は、新しいマークを設置し、実行できれば直ぐに元のマークを撤去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

13. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインはレース・コミッティーボート上のオレンジ旗を掲揚しているポールと黄色の細い円筒形のブイの間とする。

14. ペナルティー方式

- 14.1 規則42違反に対し付則Pを適用する。
- 14.2 帆走指示書の申告に関する手続きに誤りのあった艇に対して、レース委員会は審問無しにPFPと記録し、帆走指示書14.4に示す得点を与える。これは規則63.1およびA5を変更している。
- 14.3 参加艇数とは本大会に参加が認められた艇の数とする。
- 14.4 失格とされた艇は、以下の略語を用いて記録され、得点を与えられる。

略語	意 味	該当する艇の得点
DNC	スタート・エリアにこなかった。	(当該クラス参加艇数+1) 点
DNS	スタートしなかった(DNCとOCS以外)。	(当該クラス参加艇数+1) 点
OCS	スタート・ラインのコースサイドにいて規則29.1または30.1に違反した。	(当該クラス参加艇数+1) 点
BFD	競技規則30.3に基づく失格。	(当該クラス参加艇数+1) 点
DNF	フィニッシュしなかった。	(当該クラス参加艇数+1) 点
RAF	フィニッシュ後にリタイアした。	(当該クラス参加艇数+1) 点
DSQ	失格とされた。	(当該クラス参加艇数+1) 点
DNE	規則90.3(b)に基づく除外できない失格	(当該クラス参加艇数+1) 点
RDG	救済が与えられた。	救済で与えられた得点
PFP	出艇(走)・帰着申告等の手続きに違反した。	(順位+5) 点または(当該クラス参加艇数+1) 点のいずれか小さい方の得点

15. タイム・リミットと目標時間

- 15.1 目標時間は次の通りとする。

クラス	目標時間
OP 級 A クラス	45分
OP 級 B クラス	30分
レーザーラジアルクラス	45分
レーザー4.7クラス	50分

- 15.2 目標時間内に1艇もフィニッシュしなかった場合には、レースは中止する事がある。目標時間通りとならなくとも、救済の要求の根拠にはならない。これは、規則62.1(a)を変更している。

- 15.3 先頭艇フィニッシュ後、15分以内にフィニッシュしない艇は DNF と記載される。この項は規則 35 と A4、A5 を変更している。

16. 抗議と救済の要求

- 16.1 抗議および救済の要求はレース委員会で入手できる用紙に記入の上、その日の当該クラスの最終レース終了後 60 分以内にプロテスト委員会に提出しなければならない。抗議締切時刻は公式掲示板に掲示される。
- 16.2 レース委員会またはプロテスト委員会による競技規則 61.1(b)に基づく艇への抗議の通告は抗議締切時刻までに公式掲示板に掲示される。
- 16.3 プロテスト委員会により失格とされた艇の一覧は抗議締切時刻までに公式掲示板に掲示される。
- 16.4 プロテスト委員会はほぼ受付順に審問を行う。競技者への審問の時刻、場所、当事者および証人として指名された者への通告は、抗議締切時刻後 30 分以内に公式掲示板に掲示される。
- 16.5 指示 14.1 に基づき規則 42 に違反するペナルティーを課せられた艇のリストは、掲示される。指示 11.3、14.2、18、19、20、22、23、24、及び 27 の違反は艇による抗議あるいは救済の根拠とはならない。これは競技規則 60.1(a)を変更している。これらの違反に対してはプロテスト委員会の裁量によるペナルティー(失格を含む)が科せられることがある。

17. 得点

- 17.1 付則A4に規定された低得点方式および 14.4 を適用する。
- 17.2 本大会は各クラスとも4レースが予定され、1レースの完了をもって成立する。

18. 安全規定

- 18.1 チェックインとチェックアウト
- (a) 出艇申告は署名方式で行う。出艇しようとする艇の艇長は大会受付所に用意される出艇申告書にサインし出艇しなければならない。
- (b) 帰着申告は艇長の署名をもって行う。帰着した艇の艇長は帰着後直ちに、大会受付所に用意される着艇申告書にサインしなければならない。着艇申告書は、当該クラスのレース終了後 40 分間用意される。ただし、レース委員長の裁量によりこの時間を延長することがある。
- 18.2 リタイアしようとする艇は、速やかにレースエリアを離れ、リタイアの意思を近くの運営艇に伝えなければならない。艇長は指示 18.1(b)の帰着申告を行ったうえリタイア報告書を大会受付所に提出しなければならない。やむを得ず運営艇にその旨を伝えることができなかった場合はリタイア報告書にその理由を記入すること。
- 18.3 艇の乗員は、離岸してから着岸するまでの間、有効な浮力を有する救命補助具:ライフジャケット(自分の体重を支えるのに十分な浮力があるもの)を着用しなければならない。
- 18.4 レース委員会は危険な状態にあると判断したレース艇に対し、リタイアの勧告および強制的に救助を行うことができる。

19. 乗員の交代と装備の交換

- 19.1 競技者の交代はいかなる場合も認められない。
- 19.2 損傷、または紛失した装備の交換はレース委員会の承認なしでは許可されない。交換の要請は、最初の妥当な機会におこなわなければならない。

20. 装備と計測のチェック

艇または装備は、クラス規則と帆走指示書に従っていることを確認する為、いつでも検査されることがある。

21. 運営艇

運営艇の標識は、次の通りである。

レース・コミッティー・ボート …………… 神奈川県セーリング連盟ペナント

22. 支援艇

- 22.1 艇の支援要員が支援艇を用いる場合は、事前にレース委員会に登録しなければならない。
- 22.2 支援艇は、レース・コミッティー・ボートの運行を妨げてはならない。また、指示 22.4 及び 22.5 に基づくレース委員会の要請がない限り、最初にスタートするクラスの準備信号の時刻からすべての艇がフィニッシュまたはリタイヤするか、またはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発するまで、艇がレースをしているエリアの外側にいなければならない。
- 22.3 指示 22.2 に従わなかった場合、違反した者に関連するすべての艇に対してペナルティーが課せられることがある。
- 22.4 天候その他の事情により、レース委員会は支援艇に曳航の要請をする場合がある。
- 22.5 レース・コミッティー・シグナルボートまたはレース・コミッティー・ボートに数字旗8が掲揚された場合、「すべての支援艇は、レースをしているエリアを含む全エリアにおいて、危険な状態にある艇を可能な限り速やかに救助しなければならない」ことを意味する。この場合、指示 22.2 は適応されない。
- 22.6 大会期間中に競技艇を支援する艇及び支援要員が、規則 69 に違反した場合は、関連するすべての艇に対しペナルティーが課せられる。

23. ごみの処分

艇および支援艇は、水中にごみ等を捨ててはならない。支援艇、レース・コミッティー・ボートに預けてよい。

24. 無線通信

艇は離岸してから着岸するまでの間、無線の送受信を行ってはならない。この制限は携帯電話にも適用する。

25. 賞

- 25.1 OP級Aクラス優勝:賞状及び副賞 2～5位賞状
OP級Aクラス小学生1位:賞状及び副賞 2～5位賞状
OP級Bクラス優勝:賞状及び副賞 2～5位賞状
レーザーラジアルクラス優勝:賞状及び副賞 2～5位賞状
レーザー4.7クラス優勝:賞状及び副賞 2～5位賞状
※但し、全クラス参加艇数により変更する場合がある。
- 16.2 OP級Aクラス上位3名は、2012年全日本OP選手権の出場資格を与える。

26. 責任の否認

競技者は完全に自己のリスクで本大会に参加している。規則 4「レースをすることの決定」参照。主催団体及びこれらに関わる全ての団体、役員その他全ての関係者は、競技者がレガッタ前、レガッタ中およびレガッタ後に生じた物理的損害または個人の負傷もしくは死亡に対する責任を否認する。

27. 保険

各参加者は各自、損害保険に加入し有効な第三者賠償責任保険に加入していなければいけない。

2010年度
相模湾レース海面

NPO 湘南港マリンセンター 作成

定置網12

定置網11

定置網10

A

B1

B2

C

Cx

D

E

F

G

定置網	設置場所	設置日	設置者	設置理由
A	12-1	12/1	12/1	12/1
B1	11-1	11/1	11/1	11/1
B2	11-2	11/2	11/2	11/2
C	10-1	10/1	10/1	10/1
Cx	10-2	10/2	10/2	10/2
D	9-1	9/1	9/1	9/1
E	8-1	8/1	8/1	8/1
F	7-1	7/1	7/1	7/1
G	6-1	6/1	6/1	6/1